下関市立自然史博物館
豊田ホタルの里ミュージアム
The Firefly Museum of Toyota Town

第３９回　特別講演会

化石から分かる昆虫の歴史

大山　望 先生（九州大学総合研究博物館）

昆虫は今から約4億年前（古生代デボン紀前期）に初めて出現し，陸域・水域・空域などの様々な環境に進出した節足動物の一群です。その種数は陸上生物の約7 割を占めるといわれています。しかし、約4億年にわたる昆虫の歴史には謎が多いのが現状です。その中で化石は、時間軸を持つことからその歴史を語る直接的な証拠として重要な役割を持っています。そのため、世界中の昆虫化石研究者がその歴史の一端を解明するために日々昆虫化石を求めて発掘調査、研究を行っています。講演者もその一人で、日本国内の中生代（約2億5000万年前から約6600万年前；三畳紀・ジュラ紀・白亜紀）の昆虫化石研究を継続的に行っています。中でも豊田町を含む山口県は日本の昆虫化石史を考えるうえで非常に重要な化石産地を多く含んでいることが最近分かってきました。例えば、豊田町に広く分布する豊浦層群はアンモナイト化石が多く産出することで有名ですが、実は日本で唯一のジュラ紀の昆虫化石産地でもあります。これまでの報告では1種類のゴキブリ化石が知られていましたが、調査の結果、これまで知られていた以上に多くのゴキブリを発見することが出来ました。

本講演では、化石から分かる昆虫の歴史と山口県の昆虫化石の重要性についてご紹介します。

▲豊田町から発見されたゴキブリ化石
（ニッポノブラッタ・スズガミネ）

・開催日時：令和5年3月18日（土）10:30～11:30
・場　　所：豊田ホタルの里ミュージアム　多目的ホール
・受 講 料：無　料
・申し込み：入力フォームまたはお電話（083-767-0350）でお申込みください。

↑入力フォームのURL
https://shinsei.pref.yamaguchi.lg.jp/ToJzXLMH
↑入力フォームのURL

・申込締切：定員になり次第締め切らせていただきます.
・定　　員：40組